

第4回中央教育審議会 初中分科会 教育課程部会 発表資料

令和3年9月30日(木)
公益社団法人
日本PTA全国協議会





1. 日本PTAで目指す家庭と学校の連携の在り方について

1. 日Pで目指す家庭と学校の連携の在り方

(現状)

①教育現場では、学校・保護者・地域が連携し、子どもの健全育成を目指す「共育」が必要。



②共通の目的意識がなければ、保護者や地域はただの「お手伝い」になってしまう。

1. 日Pで目指す家庭と学校の連携の在り方

③不審者対策等、気軽に学校や職員室に行けない風潮であったのに加え、コロナ禍で、学校行事や研修会、懇親会などの共同事業が減少。



コミュニケーション不足になり、益々学校や先生の姿が見えにくくなってきている。



1. 日Pで目指す家庭と学校の連携の在り方

(対策)

①教育方針や考え方を、紙ではなく校長が保護者に向けてリアルに話すことが一番。

(コロナ禍ではオンラインでの保護者会、担任との懇談会も可能なのでは?)





1. 日Pで目指す家庭と学校の連携の在り方

(対策)

②システムとして、学校と保護者が連携していく形を構築する。

(地域が学校経営に参画するコミュニティ・スクール同様に、PTA・保護者もシステムとして参画できるようにする。)



1. 日Pで目指す家庭と学校の連携の在り方

(まとめ)

学校が今何をしているのか？をきちんと保護者に伝える必要があるのと同時に、教職員の人間性がわかる場を作る必要がある。多くの問題は「コミュニケーション不足から起こっており、それが解消するだけで、半分以上の学校での問題は解決すると考える。



2. 保護者の視点での日頃学校に 寄せる思い

2. 保護者の視点での日頃学校に寄せる思い

- ①私達保護者（PTA）で出来ることはないだろうか？（もっと協力できるのだが・・・）
- ②本音でなんでも話してもらいたい。
- ③そつなくこなす子どもたちが増えているな。
- ④学びのスピードが速い。量も多い。
- ⑤校長先生が変わると雰囲気が変わる。





2. 保護者の視点での日頃学校に寄せる思い

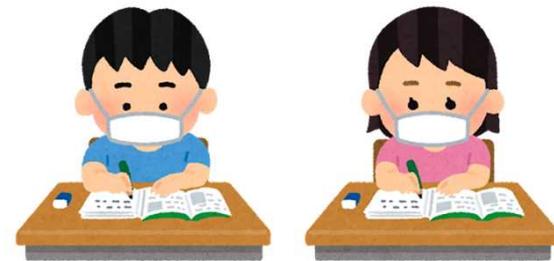
- ⑥生徒数減少により、部活動の維持。部活動の意義とは？（特に中学校において）
- ⑦自己表現する場が減少。端末での表現が増え、リアルでの表現が出来なくなるのでは？
- ⑧教職員の役割の再確認。教職員の役割の細分化で全体が把握できなくならないように。



2. 保護者の視点での日頃学校に寄せる思い

- ⑨ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランスが重要。個人の人権を広く認める事と、個人・自己主義とは異なるが、線引きが非常に曖昧。指導者の資質に大きく委ねられることになる。

「協働的な学び」の必要性も加味しながら、バランスよく指導していくことが重要と思う。





公益社団法人 日本PTA全国協議会